

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **07306872 A**

(43) Date of publication of application: **21 . 11 . 95**

(51) Int. Cl.

G06F 17/30
G06T 1/00

(21) Application number: **06123055**

(22) Date of filing: **12 . 05 . 94**

(71) Applicant: **RICOH CO LTD**

(72) Inventor: **SAKAMOTO HISAO**

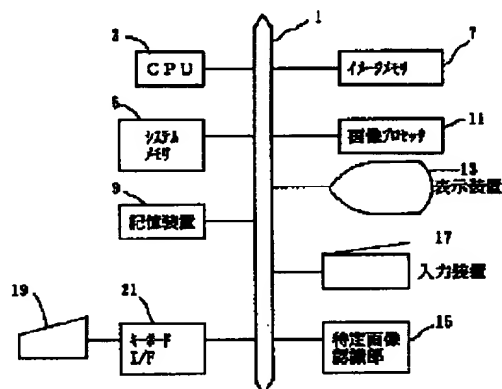
(54) **ELECTRONIC FILING DEVICE**

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide the electronic filing device of simple constitution which can greatly improve the efficiency of titling and directory specification at the time of document registration.

CONSTITUTION: The electronic filing device which registers image data on a document, etc., and retrieves a desired document at need has an input means 17 for inputting the image data and a recognition means 15 which recognizes specific information for storing a document that is registered in a desired directory while including a title; when the document is registered, paper to which the specific information is inserted at the tail of the document, the recognition means 15 recognizes whether or not the specific information is added to image data read in by the input means 17, and image data which are read so far are registered as one document. Further, the title is added according to the specific information and the document registered in the desired directory is stored.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-306872

(43) 公開日 平成7年(1995)11月21日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/30				
G 0 6 T 1/00				
		9194-5L	G 0 6 F 15/ 401	3 1 0 C
		9071-5L	15/ 62	3 3 0 D

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平6-123055

(22) 出願日 平成6年(1994)5月12日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 坂本 久男

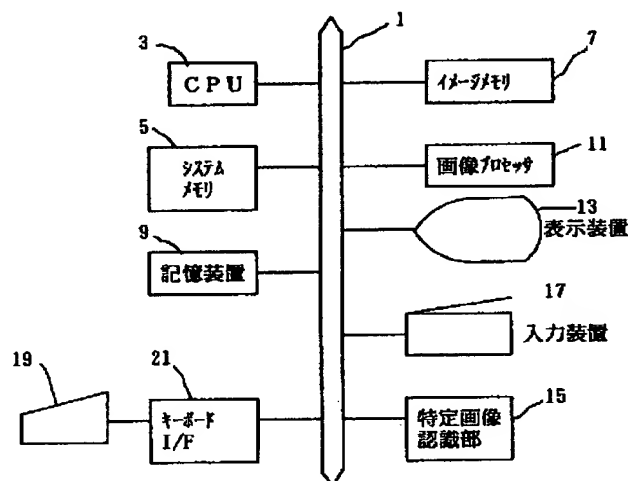
東京都大田区中馬込一丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 電子ファイリング装置

(57) 【要約】

【目的】 簡単な構成で文書登録時におけるタイトル付けやディレクトリ指定の効率を著しく向上させることができる電子ファイリング装置を提供する。

【構成】 文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置であって、上記画像データを入力する入力手段と、タイトルを付加し所望のディレクトリに登録した文書を格納するための特定情報を認識する認識手段とを有し、文書等の登録時に、文書の最後に特定情報を付加した紙を挿入しておき、上記入力手段によって読み込んだ画像データに上記認識手段によって特定情報が付加されているか判断し、それまで読み込んだ画像データを1文書として登録し、かつ上記特定情報よりタイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納する構成となっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置であって、上記画像データを入力する入力手段と、タイトルを付加し所望のディレクトリに登録した文書を格納するための特定情報を認識する認識手段とを有し、文書等の登録時に、文書の最後に特定情報を付加した紙を挿入しておき、上記入力手段によって読み込んだ画像データに上記認識手段によって特定情報が付加されているか否か判断し、それまで読み込んだ画像データを1文書として登録し、かつ上記特定情報よりタイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納することを特徴とする電子ファイリング装置。

【請求項2】 文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置であって、上記画像データを入力する入力手段と、タイトルを付加し所望のディレクトリに登録した文書を格納するための特定情報を認識する認識手段と、登録する文書と異なる用紙サイズを認識する用紙サイズ認識手段とを有し、文書等の登録時に文書の最後に特定情報を付加した登録する文書と異なる用紙サイズの紙を挿入しておき、上記入力手段によって読み込んだ画像データの用紙が、上記用紙サイズ認識手段によって登録する文書の用紙サイズと異なる用紙サイズであるか否か判断し、異なる用紙サイズと認識したときは、読み込んだ画像データより特定情報を上記認識手段より認識し、それまで読み込んだ画像データを1文書として登録し、かつ上記特定情報よりタイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納することを特徴とする電子ファイリング装置。

【請求項3】 文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置であって、上記画像データを入力する入力手段と、文書と文書の区切りを認識する認識手段と、ディレクトリやタイトル情報を格納しておくバッファとを有し、複数文書を登録するときに、あらかじめ上記バッファに登録する文書のディレクトリやタイトル情報を登録しておき、文書登録を行い、上記区切り認識手段によって文書の区切りを検出したときに、上記バッファに格納されているディレクトリやタイトル情報に従って、タイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納することを特徴とする電子ファイリング装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置に関し、特に、簡単な構成で文書登録時におけるタイトル付けやディレクトリ指定の効率を著しく向上させることができる電子ファイリング装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、文書を登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置が知られているが、従来の電子ファイリング装置の登録方法においては、文書を登録するとき、スキャナー等の入力装置によって、1文書全体を読み込んだ後、タイトルを付けたり、ディレクトリの指定を行っていた。また、複数文書の登録のときは、1文書登録する毎にタイトルを付けたり、ディレクトリの指定を行っていた。さもなければ、複数文書を登録した後に個々の文書にタイトルを付けたり、ディレクトリの指定を行っていた。従って、文書登録を行うとき、文書を登録する毎にタイトルを付けたり、ディレクトリを指定しなければならず非常に手間が掛かりかつ効率が悪かった。また、複数文書の登録のときは、1文書登録する毎にタイトルを付けたり、ディレクトリを指定しなければならないか、さもなければ、複数文書を登録した後に個々の文書にタイトルを付けたり、ディレクトリを指定しなければならず非常に手間が掛かりかつ効率が悪かった。

【0003】 また、特開平4-320571号公報においては、文書中の特殊枠の名前の組を抽出する手段と、文書ファイルの格納先情報を入力する格納指示手段と、格納先の登録時に前記抽出手段で抽出される前記名前の組と前記格納指示手段から入力される格納先情報をテーブルに登録する登録手段と、文書ファイルの格納時に前記抽出手段で抽出された前記名前の組に基づき対応する前記格納先情報を前記テーブルから求め、該格納先情報に従って当該文書ファイルを記憶装置に格納する格納手段とを有し、内容の項目に共通部分がある多数の文書から所望の文書を容易に取り出せ、また予め格納場所が決まっている文書に対する格納時の文書毎の格納場所の指示を無くしたファイル格納装置が開示されている。しかしながら、この従来技術においては、上記取り出しや格納の処理やそれを実現するための装置が非常に複雑になり非現実的であった。

【0004】

【発明の目的】 本発明は、上述の如き従来の問題点を解決するためになされたもので、簡単な構成で文書登録時におけるタイトル付けやディレクトリ指定の効率を著しく向上させることができる電子ファイリング装置を提供することを目的としている。

【0005】

【発明の構成】 上記目的を達成するため、本発明は、文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置において、上記画像データを入力する入力手段と、タイトルを付加し所望のディレクトリに登録した文書を格納するための特定情報を認識する認識手段とを有し、文書等の登録時に、文書の最後に特定情報を付加した紙を挿入しておき、上記入力手段によって読み込んだ画像データに上記

認識手段によって特定情報が付加されているか判断し、それまで読み込んだ画像データを1文書として登録し、かつ前記特定情報よりタイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納する様にすることを特徴とする。

【0006】本願第2の発明は、文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置において、上記画像データを入力する入力手段と、タイトルを付加し所望のディレクトリに登録した文書を格納するための特定情報を認識する認識手段と、登録する文書と異なる用紙サイズを認識する用紙サイズ認識手段とを有し、文書等の登録時に、文書の最後に特定情報を付加した登録する文書と異なる用紙サイズの紙を挿入しておき、上記入力手段によって読み込んだ画像データの用紙が、上記用紙サイズ認識手段によって登録する文書の用紙サイズと異なる用紙サイズであるか判断し、異なる用紙サイズと認識したときは、読み込んだ画像データより特定情報を上記認識手段より認識し、それまで読み込んだ画像データを1文書として登録し、かつ上記特定情報よりタイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納する様にすることを特徴とする。

【0007】第3の発明は、文書等の画像データを登録しておき、必要時に所望の文書を検索して読み出す電子ファイリング装置であって、上記画像データを入力する入力手段と、文書と文書の区切りを認識する認識手段と、ディレクトリやタイトル情報を格納しておくバッファとを有し、複数文書を登録するときに、あらかじめ上記バッファに登録する文書のディレクトリやタイトル情報を登録しておき、文書登録をし、上記区切り認識手段によって文書の区切りを検出したときに、上記バッファに格納されているディレクトリやタイトル情報に従って、タイトルを付加し、所望のディレクトリに登録した文書を格納する様にすることを特徴とする。

【0008】上記の如き構成を有する結果、文書等の登録時に、文書の最後に特定情報を付加した紙を挿入しておき、上記入力手段によって読み込んだ画像データに特定情報が付加されているか判断し、それまで読み込んだ画像データを1文書として登録し、かつ上記特定情報よりタイトルを付加したり、所望のディレクトリに登録した文書を格納したりする様になっているので、タイトルを付けたり、ディレクトリを指定するのが非常に簡単になり、また、複数文書を登録するときなどは、各文書の先頭に特定情報を付加した紙を挿入しておくだけで、タイトルを付加したり、所望のディレクトリに文書を登録してくれるので非常に効率が良くなる。

【0009】以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。図1は、本発明を実施した電子ファイリング装置の概略構成図である。図1に示す如く、この電子ファイリング装置は、システムバス1を介して、CPU3

と、システムメモリ5と、イメージメモリ7と、記憶装置9と、画像プロセッサ11と、表示装置13と、特定画像認識部15と、入力装置17と、キーボード19およびキーボードインターフェース21とが接続されている構成となっている。

【0010】次に、図2の動作フローチャート図を参照して図1に示した電子ファイリング装置の動作について説明する。まず、ステップ101において、図3に示す様な特定フォーマットを使用した用紙にディレクトリやタイトル情報を記入する。そして、ステップ103において、その記入した用紙を文書の最後にセットして、ステップ105において、文書登録を開始し、スキャナなどの上記入力装置17を用いて1頁目を読み込む(ステップ107)。

【0011】次に、ステップ109において、上記画像データが特定フォーマットを持った画像データか否かが上記特定画像認識部15にて判断され、特定フォーマットを持った画像データと認識された場合は、ステップ111において、上記特定画像認識部15にて、その登録しようとしている文書の登録場所のディレクトリやタイトル情報を認識し保管しておく。上記ステップ109において特定フォーマットを持った画像データと認識されなかった場合は、ステップ115において、その読み込んだ画像データを上記記憶装置9に一時記憶しておき、その動作を読み込む文書が終了するまで繰り返し行なう(ステップ113、117)。そして、ステップ119において、登録された文書に先の特定画像認識部15にて認識されたタイトルを付加し、ステップ121において、先の画像認識部15にて認識されたディレクトリに記憶し直す。

【0012】次に、本発明による電子ファイリング装置の第2実施例について説明する。図4は、本発明による電子ファイリング装置の第2実施例の概略構成図である。図4に示す如く、この電子ファイリング装置は、システムバス1を介して、CPU3と、システムメモリ5と、イメージメモリ7と、記憶装置9と、画像プロセッサ11と、表示装置13と、特定画像認識部15と、入力装置17と、キーボード19およびキーボードインターフェース21と、さらに、用紙サイズ認識部23とが接続されている構成となっている。

【0013】次に、図5の動作フローチャート図を参照して図4に示した電子ファイリング装置の動作について説明する。まず、ステップ201において、図6に示す様な登録する文書と異なるサイズの用紙に特定されたフォーマットを使用してディレクトリやタイトル情報を記入する。そして、ステップ203において、その記入した用紙を文書の最後にセットして、ステップ205において、文書登録を開始し、スキャナなどの上記入力装置17を用いて1頁目を読み込む(ステップ207)。

【0014】次に、ステップ209において、上記読み

込んだ画像データが登録する文書と異なるサイズであるか上記用紙サイズ認識部 23 にて判断し、サイズが異なる場合は、ステップ 211 において、上記特定画像認識部 15 にて、その登録しようとしている文書の登録場所のディレクトリやタイトル情報を認識し保管しておく。上記ステップ 209 において登録しようとする文書と同じサイズと判断された場合は、ステップ 215 において、画像データを上記記憶装置 9 に記憶しておき、その動作を読み込む文書が終了するまで行なう（ステップ 213、217）。そして、終了したら、その登録された文書に先の特定画像認識部 15 にて認識されたタイトルを付加し（ステップ 219）、また、先の特定画像認識部 15 にて認識されたディレクトリに記憶し直す（ステップ 221）。

【0015】次に、本発明による電子ファイリング装置の第 3 実施例について説明する。図 7 は、本発明による電子ファイリング装置の第 3 実施例の概略構成図である。図 7 に示す如く、この電子ファイリング装置は、システムバス 1 を介して、CPU 3 と、システムメモリ 5 と、イメージメモリ 7 と、記憶装置 9 と、画像プロセッサ 11 と、表示装置 13 と、特定画像認識部 15 と、入力装置 17 と、キーボード 19 およびキーボードインターフェース 21 と、用紙サイズ認識部 23 と、特定情報バッファ 25 とが接続されている構成となっている。

【0016】次に、図 8 の動作フローチャート図を参照して図 7 に示した電子ファイリング装置の動作について説明する。まず、ステップ 301 において、上記特定情報バッファ 25 に登録しようとする文書のディレクトリやタイトル情報を書き込んでおく。そして、ステップ 303 において、その記入した登録しようとする文書と異なるサイズの用紙を文書の最後にセットして、ステップ 305 において、文書登録を開始し、スキャナなどの入力装置を用いて 1 頁目を読み込む（ステップ 307）。次に、ステップ 309 において、読み込んだ画像データが登録する文書と異なるサイズであるか否かを上記用紙サイズ認識部 23 にて判断し、サイズが異なる場合は、ステップ 311 において、上記特定画像認識部 15 にて、その登録しようとしている文書の登録場所のディレクトリやタイトル情報を認識し保管しておく。上記ステップ 309 において、登録しようとする文書と同じサイズと判断された場合は、ステップ 315 において、画像データを上記記憶装置 9 に記憶しておき、その動作を読み込む文書が終了するまで行なう（ステップ 313、317）。そして、終了したら、その登録された文書に先*

* の特定情報バッファ 25 に記憶しておいたタイトルを付加し（ステップ 319）、また、先の特定情報バッファ 25 に記憶しておいたディレクトリに記憶し直す（ステップ 321）。

【0017】

【発明の効果】本発明によれば、文書等の画像データの登録時に、文書の最後に特定情報を付加した紙を挿入しておき、入力装置によって読み込んだ画像データに特定情報が付加されているか判断し、それまで読み込んだ画像データを 1 文書として登録し、かつ前記特定情報よりタイトルを付加したり、所望のディレクトリに登録した文書を格納したりする様になっているので、タイトルを付けたり、ディレクトリを指定するのが非常に簡単になる。また、複数文書を登録するときなどは、各文書の先頭に特定情報を付加した紙を挿入しておくだけで、タイトルを付加したり、所望のディレクトリに文書を登録してくれるので非常に効率が良くなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明を実施した電子ファイリング装置の概略構成図。

【図 2】図 1 に示した電子ファイリング装置の動作フローチャート図。

【図 3】図 1 に示した電子ファイリング装置で使用する特定フォーマットを示す図。

【図 4】本発明による電子ファイリング装置の第 2 実施例の概略構成図。

【図 5】図 4 に示した電子ファイリング装置の動作フローチャート図。

【図 6】図 4 に示した電子ファイリング装置で使用する異なる用紙サイズの用紙を示す図。

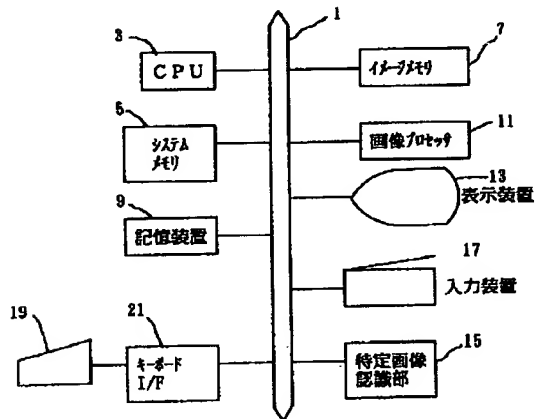
【図 7】本発明による電子ファイリング装置の第 3 実施例の概略構成図。

【図 8】図 7 に示した電子ファイリング装置の動作フローチャート図。

【符号の説明】

1…システムバス、3…CPU、5…システムメモリ、7…イメージメモリ、9…記憶装置、11…画像プロセッサ、13…表示装置、15…特定画像認識部、17…入力装置、19…キーボード、21…キーボードインターフェース、23…用紙サイズ認識部、25…特定情報バッファ、101～121、201～221、301～321…各ステップ、

【図1】



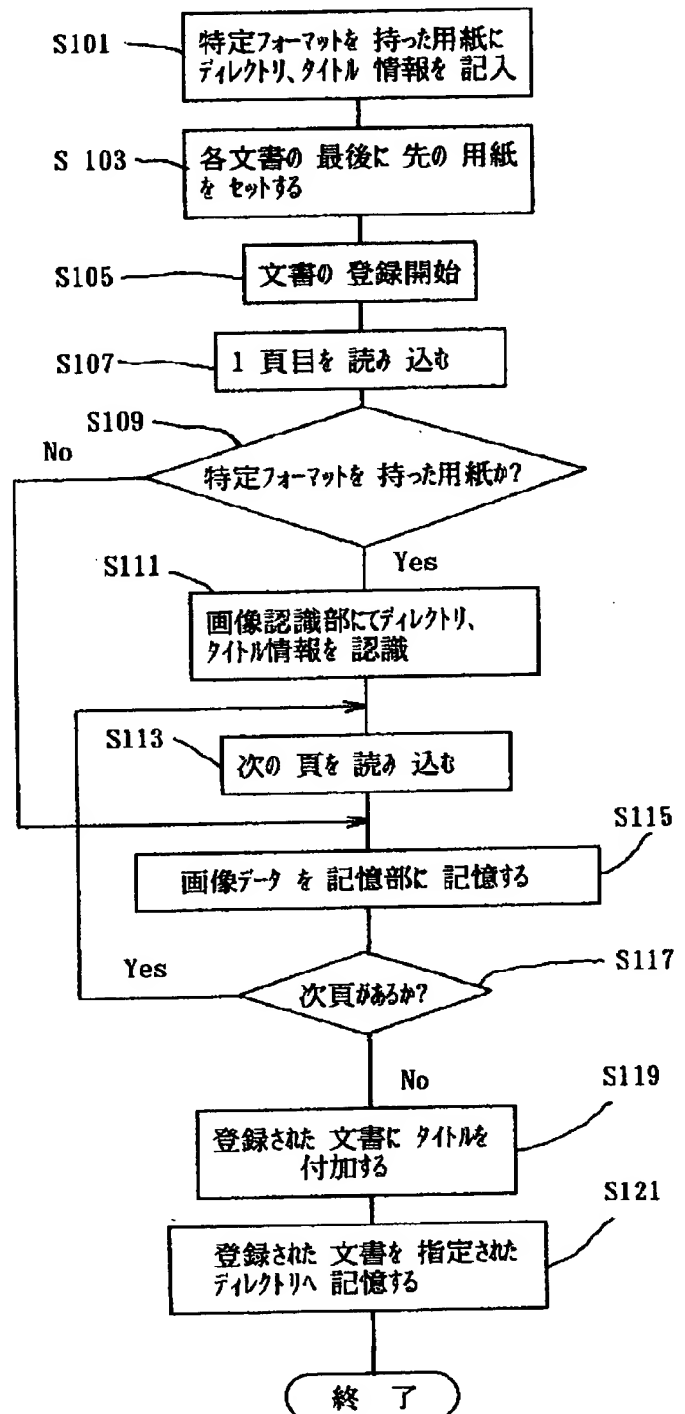
【図3】

ディレクトリ名: _____

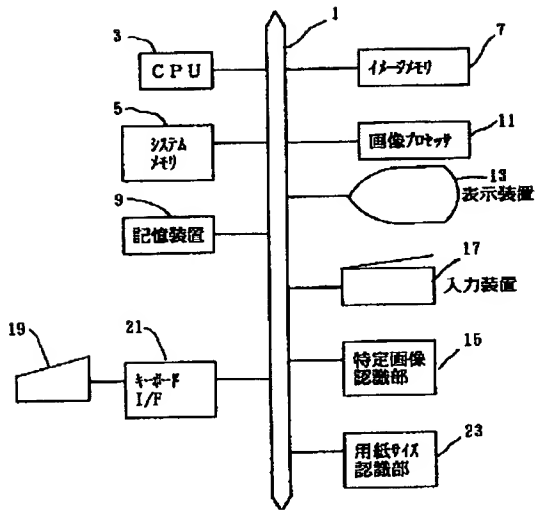
タイトル名: _____

特定フォーマットを持った用紙

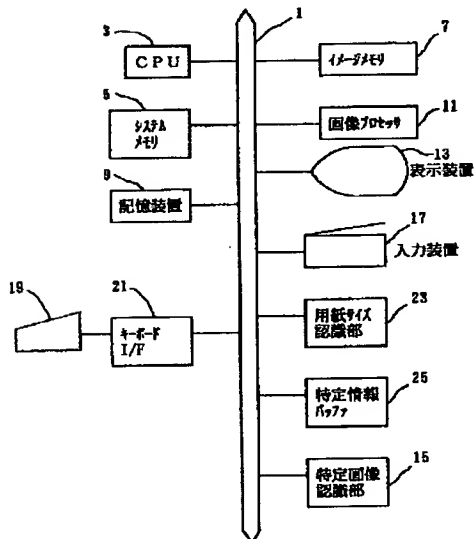
【図2】



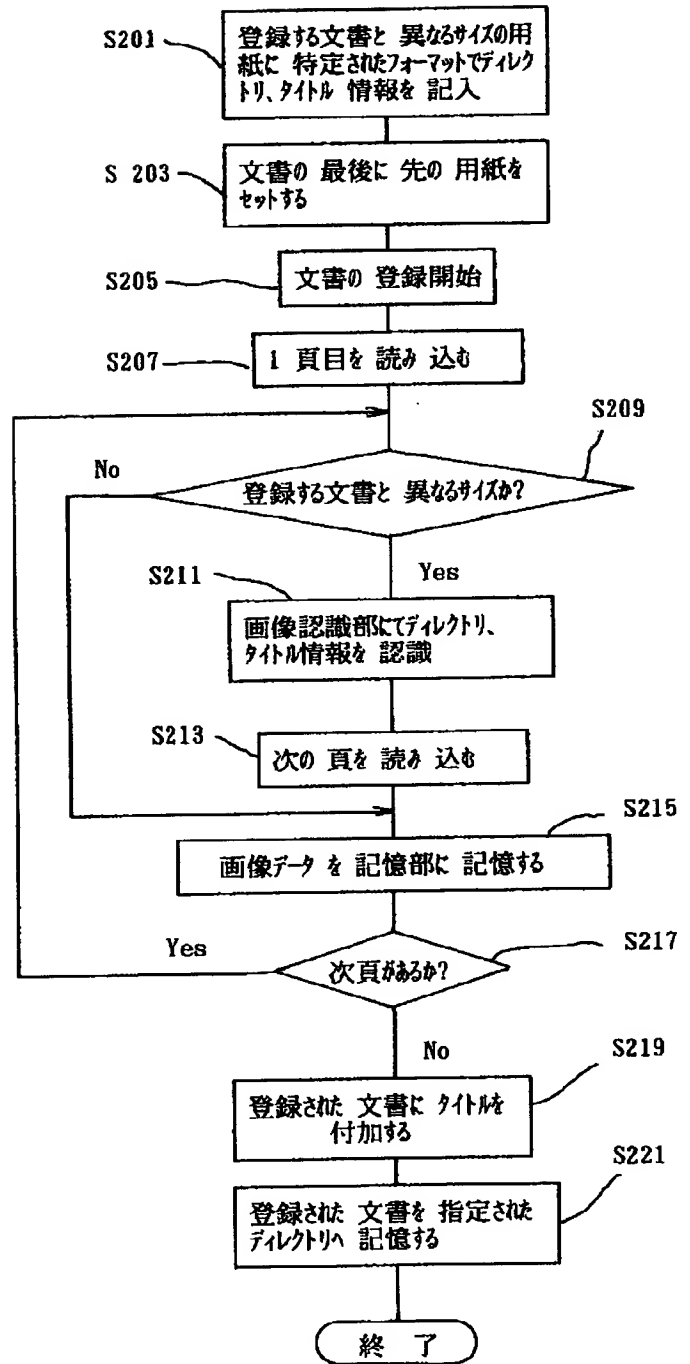
【図4】



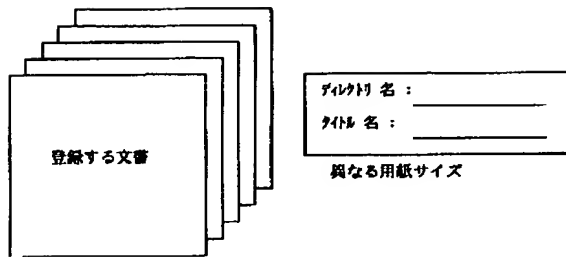
【図7】



【図5】



【図 6】



【図 8】

